


オホーツク管内専門家チーム巡回相談

申込の期時	○ 第Ⅰ期：6月末 ○ 第Ⅱ期：9月末 ○ 緊急を要するケースについては、12月までの間、随時受け付けています。	相談の数	○ 複数回の相談ができます。
相談への対応者	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校の特別支援教育コーディネーター 発達支援センター職員 相談支援事業所地域づくりコーディネーター 教育局義務教育指導班指導主事（特別支援教育スーパーバイザー） 	指導助言の内容	○ 様々な学校種の専門的な知識をもった教員や指導主事が対応しますので、 <u>各学校種の教育課程や幼児児童生徒の発達の段階に応じた指導助言</u> ができます。
諸検査の実施	○ 幼児児童生徒の実態を把握した上で、必要に応じて実施できます。IQなどの数値を出すことや、障がい名を判定することが目的ではなく、幼児児童生徒の得意なことや苦手なことを把握し、今後の支援の方向性を検討する上での客観的な指標を得ることが目的となります。		
保護者への対応	○ <u>必要に応じて対応可能</u> です。	研修会等の講師	○ 対応できません。
保育所、私立高等学校への対応	○ <u>公立・私立の幼児教育施設、私立の高等学校についても対応</u> できます。		


【巡回相談を活用した学校等からの声】

□ 幼稚園、保育園、認定子ども園



もっとみんなと一緒に遊んでほしいだけなあ。


相談前



騒がしい場所は苦手だから、徐々に集団に慣れるように段階を踏もう。


相談後

□ 小学校(通常の学級)



もう2年生になるけど、まだ書けない平仮名があるんだなあ。


相談前



彼に適した課題を用意して、継続して指導していこう。


相談後

□ 中学校(通常の学級)



毎日伝えているのに、どうして忘れ物が多いんだろう。


相談前



帰りの会で、明日の持ち物を板書して、メモさせるようにしましょう。


相談後

□ 高等学校



指示を聞いて理解したり、次の行動に移したりするのが苦手な生徒がいるなあ

相談前



生徒への指示を具体的に伝えるように工夫しよう。

相談後

「オホーツク管内専門家チーム巡回相談」は、幼児児童生徒の困り感はもとより、学校や先生方の悩みを解決する一助となるものです。相談の内容や学校の状況に応じて、積極的に活用していただき、実態に応じた適切な指導や支援につなげていただければと思います。



- ※ 学校等や市町村、関係機関における支援の目安に基づき、事務局において要請を受理します。
- ① 個別の教育支援計画を作成し、当該機関と支援策を検討するとともに、役割分担を明確にして支援策を講じているか。(通常の学級に在籍している幼児児童生徒の場合、個別の教育支援計画を作成していること。)
 - ② 幼児教育施設において、発達支援センターを利用している場合、発達支援センターと共通理解を得た上で申請しているか。